



未来を拓く



◇学校教育目標：夢をもち 未来を拓く子ども ◇重点教育目標：人・社会・未来とつながるWell-being2025

ことばを大切に

校長 南 向 信 一

少し前になりますが、NHKで「舟を編む」というドラマをやっていました。映画にもなっておりタイトルだけは知っていましたが、「舟を編む」という少し不思議なタイトルだったので気になっていたところ、ドラマ化されたので見てみました。

出版会社で辞書づくりに情熱をもって取り組んでいくお話で、一つ一つの「ことば」を大切にし、意味を考えたり調べたりして、お互いの気持ちや思いを的確なことばで伝えることの大切さも再確認させられるドラマでした。

主人公は、悪気はないのですが「～なんて」をよく使っていて、あまりまわりの人からよく思われていない様子でした。そんな中、辞書編集部で人事異動となり、その歓迎会で「～なんて」という言葉を口にしたときに、「『なんて』を辞書で調べてごらん」と言われます。調べてみると、「～なんて」には「あきれた気持ち」や「軽く見る気持ち」を表す場合があると知り、知らず知らずに相手や相手の大切にしていることを自分の目線で「軽く見たり、あきれて見たりしていると感じさせていたのかもしれない」ということに気付きます。

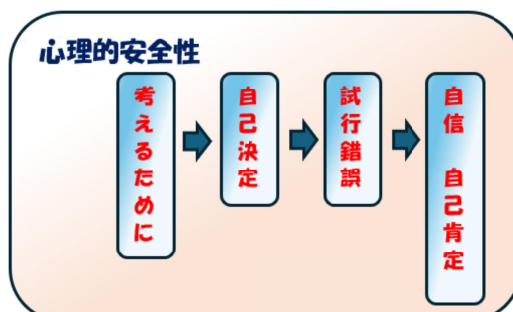
私たちも日頃何気なく使っていることばが、相手にどのように受け取られているか、ときどき考える必要があるかもしれません。

試行錯誤について その③(自己肯定につなげるために)

「周囲の役割と温かい声かけ」

これらのプロセスを支えるために、大人の役割も重要です。結果だけでなく、子どもが試行錯誤する過程や、自分で決めたことに対して努力している姿を具体的に褒めることが効果的です。「すごいね!」といった漠然とした言葉よりも、「友達と協力して、あきらめずに完成させたのが素晴らしいね」のような具体的な声かけが子どもの心に響きます。

このように、試行錯誤と自己決定の経験を重ねることで、小学生は「自分はできる」「自分には価値がある」という感覚を育み、自分らしい人生を歩いていくための土台を築くことができます。



書道教室

11月11日（火）、本田蒼風先生を講師にお迎えし、書道教室を開催しました。低学年は「しか」、中・高学年は「馬」をテーマに、それぞれの学年に合った課題に取り組みました。本田先生は、筆の持ち方や運び方など、上手に書くためのポイントをわかりやすく、楽しく教えてくださり、子どもたちはみるみるうちに上達。集中して筆を走らせる姿が印象的で、どの子も満足のいく作品を仕上げることができました。保護者の皆様にもご協力いただき、温かな雰囲気の中で、充実した時間を過ごすことができました。ご参加・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



聾学校との交流

11月27日（木）、昨年は富沢小にお越しいただいた旭川聾学校の皆様。今年は富沢小の児童が訪問し、1年ぶりの再会を喜び合いました。対面式の後には、フルーツバスケットやしっぽ取りゲームなどを通して、笑顔いっぱいの交流が広がりました。これからも、学校を越えたつながりを大切にしていきたいと思います。



はなまるちゃん

今年も1・2年生の教室に、モルモットの「はなまるちゃん」がやってきました。自分たちで調べたことを生かして、ケージの掃除やえさやりなどを、みんなで力を合わせて行いました。小さな仲間との時間が、子どもたちにとってかけがえのない学びとなりました。



ふれあいお楽しみ会

11月21日（金）にPTA活動「ふれあいお楽しみ会」が開催されました。会場となったワークプラザでは、保護者の皆様が心を込めて準備をしてくださり、子どもたちは、お餅つきを楽しみました。杵を振り下ろすと、「よいしょ！」の音が響きました。ついたお餅で、まゆ玉づくりをしました。みんなで、木の枝にカラフルなまゆ玉を飾りつけました。つきたてのお餅をみんなで味わうひときは、笑顔と温かさに包まれました。保護者の皆様のありがとうございました。



12月

1日（月）～5日（金） 個人懇談週間

12日（金） 一輪車発表会

15日（月） デザイン教室

スクールカウンセラー来校日

16日（火） クラブ⑧（反省）

25日（木） 終業式 大掃除

26日（金） 冬期休業開始

※3学期始業式は令和8年1月15日（木）です。

